

をしてやりました。それに 句也沒道謝。
一言の禮も云ひません。

十もう春になりました。それ 已經到了春天了可是天氣
にまだ寒いです。 還冷。

第五十七課 書店、書舖

客 日本語の良い會話の本が有りま 有日本話的好會話書沒有。
すか。

商 色々御座います。此の本は極近頃 有各樣的這本。書是新近出
の出版で御座います。 的版。

客 これは第何版ですか。 這是第幾版。
商 これは第十二版です。 這是第十二版。

客 何か面白い小説が有りますか。 有甚麼有趣兒的小說沒有。
商 此處に色々御座います。どうぞ御 這兒有各樣的請看看。

覽下さう。

客 漢譯の日本語法は有りませんか。 有譯漢的日本文法書沒有。
商 只今は品切で御座います。古本な 現在賣完了。若是要舊的可
らば二册御座います。 有兩本。

客 世界讀本の漢譯はまた出來ませ 世界讀本の譯漢還沒做出
んか。 來麼。

商 まだ出來ません。多分來月の初旬 還沒得哪。大概下月初間可
に發行致しませう。 以出賣。

練習

- 地理書 地理書 法律書 法律書 地圖 地圖 字書 字典 字引 字典
 - 雜誌 報 翻譯書 翻譯書 萬國歷史 萬國通鑑 著者 著者的 訂正
 - 訂正 教科書 教科書 參考書 參考書 獨習書 獨習用的書
- 一 寺尾博士の算術書が有り 有寺尾博士編的算術書沒

ますか。

有。

二梅博士の民法講義はあり

有梅博士編の民法講義沒

ませんか。

有。

三此の本は製本が丈夫です。

這本書釘裝的結實。

四此方の書籍目録を見せて

把你們的書單子給我瞧瞧。

下さい。

五英譯の不如歸が有ります

有英文的不如歸沒有。

か。

不如歸 小説之名

第五十八課 銀行

銀行。

客二百圓だけ預けたいのです。

我要存二百塊的錢。

銀定期預になさいますか。

您要有限期的麼。

客預金には利子はこの位付きます

存錢給多少利息。

か。

銀六個月の定期預には五分の利を

限六個月存的錢。給五分利

付けます。

息。

客一年には何程ですか。

一年要給多少。

銀期限が長ければ長い程利息が多

年限越長利息越多。

くなります。

ければ……程 越……越之意

客當座預には利子が付きませんか。

當座預給利錢不給

銀付きます。百圓について八厘です。

給每一百圓是八釐。

客それでは定期預に致しませう。一

那麼我要限期存。請你把員

寸金高を御調べ下さい。

數算一算。

銀これが通帳です。此の中に記入し

這就是摺子。裡頭有收号。

て有ります。

練習

日本銀行 日本銀行

正金銀行 正金銀行

貯蓄銀行 貯蓄銀行

勸業銀行 勸業銀行 農工銀行 農工銀行 貨幣 金貨 金銀

銀貨 銀錢 銅貨 銅錢 紙幣 銀票 手形 票子 對條 銀行手形 銀票 爲

替 匯錢 爲替手形 匯單 株 股份 株券 股票 株主 股東 前金拂

支錢 割引 扣頭 支拂 開借 頭取 首座

一 五十圓だけ引き出します。 我要支五十塊錢。

二 どうぞ三百圓の爲替手形 我要一張三百塊錢的滙票

を組んで下さい。 滙費是多少錢。

三 爲替料は幾らですか。 把這十塊錢的銀票換零錢。

四十圓札を一枚兩換して下さい。 銀行禮拜和大祭日要歇。

五 銀行は日曜日と大祭日と だけは休業です。

六 品物が善ければ善い程値 東西越好價值越貴。

段が高いです。

七 勉強すればする程學問が 越用工學問越長進。

上達します。

第五十九課 散語 散語。

あの人は大膽ですから。鐵砲の玉が 那個人膽子壯所以槍子兒

雨の様に飛んで來てもびくこもし 如雨飛來。一點兒也不怕。

ません。 他是個胆子小的人。所以半

あの人には臆病ですから。夜中に蠟が 夜裡開耗子也害怕。

暴れてもびくびくして居ます。 磁器容易壞。漆器比磁器結

瀬戸物は壞れ易いです。塗物の方が 實點兒。

少し丈夫です。 都是日本話。各處有各處的

同じ日本語でも。地方には地方の方 土話不一樣。

言があります。一様ではありませ

ん。
 東京に御馴染の方が居らっしゃるなら、どうぞ御紹介を願ひます。御國の文語と俗語とは、餘程違つて居ますか。
 あの電車は満員ですから、次のを待ちませう。
 銀座は東京で一番賑かな街です。そんな人は聞いた事も無い人です。
 あの人は西洋へ行った事も無い癖に、何事でも知つた風をします。行李の中に鉋屑を詰めて荷造する

您若是在東京有相好的朋友、請紹介紹介。
 貴國文話跟俗話差的多不多。
 那個電車人滿了、僂們等後邊兒的罷。
 銀座街是東京最熱鬧的街。那麼樣人我聽也沒聽過的人。
 他連西洋都沒去、可假粧甚麼事都知道的樣子。
 行李裡頭鉋花打包貨物

ご荷物が破損しません。
 あの人は根掘り葉掘つて私に尋ねます。
 ぼんやりとして居て、はっきりと見えません。
 今日蒸暑くて本當に厭です。雨が降り込みますから、窓を閉めて下さい。
 氣を苛てば、苛つ程口が吃ります。無理に勉強すると體を悪くします。番頭が金を遣ひ込んだのが露顯しました。
 下女に云ひ付けて、植木鉢に水をか

就壞不了。
 他和我刨根問底兒。
 迷々糊々の看不明白。
 今天悶熱、實在難受。
 因爲雨往窗戶上瀦、請您放窗戶。
 越著急越結巴。
 強要用工就壞身體。
 掌櫃的侵吞銀子的事情露出來了。
 吩咐下女澆花盆裏的花兒。

けさせて下さい。

車夫をやって醫者を呼んで來させ 打發車夫去。把大夫請來罷。て下さい。

今日の競馬會は雨天ですから見合 今天賽馬會因爲下雨散了。になりまして。

あの金満家は今度慈善會へ五萬圓 那個財主這回捐給慈善會 寄附しました。

世の中が進歩すればする程生活が 五萬塊錢。 世界上越見好過日子越艱 苦しくなります。

水は酸素と水素との化合物です。 水是酸素跟水素化合物的。 善い友達に交ると善くなる。悪い友 交好朋友就好。交不好的朋 達に交ると悪くなる。人の性質は丸 友就不好。人性實在彷彿水 似的。

今夜は十五夜です。二階へ上って月 今天晚上是中秋。偕們上樓 見をませう。

此の仕事が出来れば報酬は欲し 若是這件事辦妥了。謝儀是 いただけ。幾らでも上げます。 您要多少給多少。

御國の輸出品と輸入品は重にどん 貴國出口貨和進口貨大宗 なのですか。

上海は清國で一番繁華な開港場で 上海是清國最繁華的通商 口岸。

子供が二人で留守番をして居ます。 家裡沒有人。兩個小孩子看 家哪。

今から行くに六時の汽車に間に合 從現在去。坐六點鐘的火車 ひませうか。

あの人は交際が上手です。 他講究酬應。

第二篇 問答篇

此の品は割引が有りますか。

這個東西有扣頭沒有。

急いで行けば追付かれます。

趕緊的去就可以趕上。

あれは中々強慾な商人です。

他是貪心不足的買賣人。

此の頃は拘摸が大變に殖えました。

近來小緒很多。在電車裡坐。

から電車の中でよく御用心なさら

得多小心。

なくてはいけません。

我法國話一句都不明白。

私は佛蘭西語は一言も分りません。

昨天找了一天也沒找着您

昨日は一白君の下宿を探しました

住的客店。

が見付りませんでした。

您把靴子の泥蹭一蹭。

靴の泥を磨り落しなさい。

左思右想想不起來。

色々と考へました。が考へ付きませ

他是いろいろ的い字也不知

ん。あの人はいろはのいの字も知りま

せん。全くの文盲です。

道是個睜著眼的瞎子。

あの人は大酒家で飲めば飲む程酔

他是海量。越喝越不醉。

ひません。

他說的亂七八道。

あの人の話は滅茶苦茶です。

多嘴多舌的女子討人嫌。

饒舌の女は人に嫌はれます。

上野公園背面地方白天也

上野公園の後の方は晝でも淋しい

清冷。

です。

他一個人做這領礮事情大

あの人獨で破廉恥の事をした爲に

家都臉上磨不開。

皆が面目が無くなった。

各人有各人的所長。

人は皆それぞれ得手があります。

那兩個弟兄們像一對雙棒

あの兄弟は雙子の様によく似て居

兒。

ます。あの學生はあんなに惰けて居ては。

那個學生那麼懶惰實在不

いつまでも物に成りません。御國の一年間の輸出と輸入と比較するに如何です。

成材料。

貴國一年出口的和進口的比較起來怎麼樣。

第六十課 新來の生徒。

新來的學生。

學生私は今日初めて入學致しました。どうぞ宜しく御願ひ致します。

我是今天初次入學的。請老師多照應。

教師ああそうですか。其處へ御掛けなさい。貴下はこれまで何處の學校に居ましたか。

啊是了。在那兒坐罷。您從先在甚麼學校。

學何處へも参りませんでした。

沒入過學校。

教いつ日本へ來ましたか。

幾時到日本來的。

學昨年の六月に來ました。

去年六月來的。

教日本語は何處で習ひました。

日本語在那兒學的。

學日本語は國に居た時御國の先生に習ひました。

日本語在做國的時兒跟着

一位貴國教習學的。

教貴下は時間表を寫しましたか。

您寫過功課單子了麼。

學いいえ。まだ寫しません。何處に有りますか。

還沒寫。在那兒呢。

在教房門口兒左邊兒掛着

教教室の入口の左の方に掛けてあります。

哪。

教科書は皆買ひましたか。

教科書都買了麼。

學はい。皆買ひました。只今揃へて持

是都買了。現在一齊都帶來

って來て居ります。

了。

練習

一此の組の日本語の先生はど

這班日語教習是誰。

なたですか。

二 日語の先生は竹田先生と 日語教師是竹田先生跟山

山川先生です、 川先生。

三 授業料は幾らですか。 學費是多少钱。

四 此の學校には寄宿舎が有りますか。 這個學校有寄宿舎沒有。

五 私は本を忘れました。 我忘了帶書來。

第六十一課 家ヲ借りル。 租房子

甲 貴下ハモウ家ヲ借りマシタカ。 您已經租妥了房子了麼。

乙 マダ極メマセン。昨日四五軒見マシタガ。皆氣ニ入りマセン。 還沒定規昨天看了有好幾家都不中我的意。

甲 家賃が高い所爲デスカ。 是房錢太貴的緣故麼。

乙 イイエ。夫レバカリデハ有リマセ。 不但房錢貴地勢又不好屋

ン位地ガ悪カッタリ間取ガ善クナ 子又不合式院子又不中意
カッタリ庭ガ氣ニ食ハナカッタリ。 有各樣的毛病。
色々スデ。

甲 ソレデハドンナノガ善イノデス 那麼那個樣的纔合您的意
カ。 呢。

乙 土地ガ高燥デ空氣ノ流通ガ好ク。 願意地方高燥空氣流通的
其ノ上便利ナ處ガ欲シイノデス。 而且還得方便的地方兒。

甲 私ノ近所ニ格好ノガ一軒アリマ 我的戶近兒有一處合式的。
ス。ソレハ近頃新築シタバカリデ 那是新近纔蓋的。

乙 ソウデスカ。 是了。

甲 私ハ明日用事ガ有ッテ向ウノ方ヘ 因爲我明天有點兒事情要
行キマスカラ。次手ニ御一緒ニ行 上那邊兒去順便兒偕們一

ッテ見マセウ。

塊兒看看去。

乙ドウゾ。ソウ願ヒマス。ソレデハ明

拜托拜托那麼明早兒我同
您去罷。

練習

貸家 要租的房子 部屋 屋子 客間 客廳 臺所 廚房 食堂 飯廳 湯殿 浴室

漢堂 廊下 遊廊 屋根 房頂兒 天井 頂棚 欄干 欄杆 窓 窗戶 門 大門

戸 戶 襖 襖櫃

一此ノ頃ハ寒カッタリ熱カッタリ。本當ニ不順デス。這幾天乍冷乍熱實在時令不正。

二外へ出ル次手ニ私ニ郵便切手ヲ買ッテ來テ下サイ。你出去就手兒給我買信票來。

三五百圓バカシ損ヲシマシタ。吃的虧大概有五百塊錢。

四小サイ事バカシ思ッテ居テハ大キナ事が出來マセ
ン。竟願小事就做不出大事來。

五私ハ學校カラ歸ッテ來タバカシデス。我是從學堂剛回來的。

六勸工場デ買物ヲシテ居タバカリデ。汽車ニ乗り後レマシタ。因爲在勸工場裡買東西來着。所以沒趕上火車。

第六十二課 名刺ヲ誂ヘル。定做名片。
客名刺ヲ誂ヘタイノテスガ見本ヲ見セテ下サイ。我要定做名片。給我拿樣子來看。

商此處ニ御座イマスドウカ御覽下サイ。這兒有請看看。

客此ノ手ノデ二百枚刷ッテ下サイ。用這宗材料給我印二百張

罷。

商書體ハ何ニ致シマセウ。字體是要甚麼樣兒的。

客隸書ガ好イデス。隸字的好。

商御處書ハ隅ノ方ヘ刷リマセウカ。貴住址要在上手裏印麼。

客處書ハ裏ヘ刷ッテ。表ノ左ノ隅ノ住址是要在裏面印。在外面

方ヘ原籍地ト字トヲ入レテ下サイ。兒上手裡要印原籍和號。

商畏リマシタ。ドウゾ御名前ト御處知道了。請寫尊姓和貴住址。

書ヲ御認メ下サイ。多嚙可以做得呢。

客イツマデニ出來マスカ。趕到後天晚上可以做出來。

商明後日ノ夕方マデニ仕上ゲマス。另外沒有甚麼事情麼。

何カ外ニ御用ハ有リマセンカ。

客只今ハ何モ有リマセン。

現在沒有甚麼了。

練習

一此ノ間詔ヘテ置イタ名刺 前幾天定做的名片做出來

ハ出來マシタカ。了麼。

二出來タラ直グ宅マデ持タ 若是做得了就打發人給我

セテ來テ下サイ。送了去。

三私ノ詔ヘタノハ楷書デス。我定做的是楷書。這是行書

コレハ行書ニ成ッテ居マス。你要改一改。

直シテ下サイ。

四コレハ印刷ガ鮮明デス。這印的很清楚。

五紙ハ舶來ノニシテ下サイ。紙要西洋紙。

第六十三課 胃病ト風邪。胃病和傷風。

甲私ハ時々夜中ニ目ガ醒メタママ。我時不常的半夜裡就醒再

寢付カレナイ事ガ有リマス。

也睡不着的時候兒。

乙 夫レハイケマセン恐ロシイ夢ヲ

那不行沒做害怕的夢麼。

見ル様ナ事ハ有リマセンカ。

有可是一想事情就覺着頭

甲 有リマスソレカラ物ヲ考ヘルト

痛頭暈。

直グニ頭ガ痛ンデ眩暈ガシマス。

巧了是胃病。

乙 多分胃病デセウ。

怎麼樣治法。

甲 ドウスレバ治リマセウカ。

飲食要留神活動要合式。不

乙 飲食ヲ慎ンデ運動ヲ適度ニスル

用藥就可以好。

ト藥ヲ飲マナクテモ治リマス。

我每年一到了冬天就傷風

甲 私ハ毎年冬ニナルトヨク風ヲ引

有甚麼防備的法子沒有。

キマスガ何カヨイ豫防ノ方法ハ

那就是您皮膚軟弱的緣故。

有リマセンカ。

乙 夫レハ皮膚ガ弱イカラデス。先ヅ

皮膚ヲ丈夫ニスル工夫ヲナサル
ガ宜シイ。

所以總得講究保養皮膚的
法子。

甲 皮膚ノ養生法ガ有リマスカ。

有皮膚的養法沒有。

乙 有リマス。冷水浴カ冷水摩擦

有啊您哪。最好的是用涼水

ガ一番デス。毎日コレヲ實行スル

洗澡。或是用涼水擦身體您

ト皮膚ガ丈夫ニナルバカリデナ

若是天天兒用這個法子不

ク身體モ餘程健康ニナリマス。

但叫皮膚結實而且可以強

壯身體。

マカリテナク 不但之意

練習

一家ガ燒ケタバカリデナク

不但房子燒了。連傢伙都燒

道具モ皆燒ケマシタ。

了。

ニアノ人ハ知慧ガ有ルバカ

他是不但有知識。而且很勤

リデナク。非常ニ勤勉デス。謹

三 私バカリリデナク友達マデ 不但我一個人丟臉連朋友們都丟臉。

四 貴下ハ毎日家ニバカシ居 您天天兒竟在家裡幹甚麼。

テ何チナサツテ居ラッシ 們都丟臉。

ヤイマスカ。 您天天兒竟在家裡幹甚麼。

五 毎年夏ニナルト傳染病ガ 每年一到了夏天傳染病流

流行シマス。コレハ豫防ス 行。是能夠防備麼。

ルコトガ出來マスカ。 行。是能夠防備麼。

第六十四課 醫者(一) 大夫(一)

甲 先生ハ御在宅デスカ。私ハ御診察 先生在家了麼。我來是請先

チ願ヒタイノデス。 生看一看。

乙 アア。ソウデスカ。ドウゾ此處デ暫 阿是麼。請您在這兒等一會

ラク御待チ下サイ。 兒。

乙 ドウゾ診察室ヘ御出デ下サイ。 請您到號脉房去罷。

大 此處ヘ御掛ケナサイ。 您在這兒坐。

大 ドウ云フ工合デスカ。 您怎麼樣。

甲 頭ガ痛ミマシテ時々眩暈ガシマ 腦袋疼時常的覺着頭暈。

ス。 大便通不通。

大 通ガ有リマスカ。 平常一天就是一回。可是這

甲 不斷ハ日ニ一回ヅツ有リマシタ 兩三天一點兒也不通。

ガ。此ノ二三日ハチツトモ御座イ 脫下褂子。在這個牀下躺下

マセン。 罷。

大 上衣ヲ取ツテ此ノ寢台ノ上ニ横 有發燒不發燒。

大熱ハ三十八度二分程有リマス。何 發燒有三十八度二分。沒有
 モ心配スルコトハ有リマセン。 甚麼可慮的。
 大宜シイ。上衣ヲ御召シナサイ。今藥 您可以穿褂子。我就給您藥。
 ナ上ゲマス。

練習

- 內科醫 內科大夫
- 外科醫 外科大夫
- 齒科醫 牙科大夫
- 婦人科醫 婦人科大夫
- 小兒科醫 小兒科大夫
- 獸醫 獸醫
- 女醫 女大夫
- 庸醫 庸醫
- 土大夫 土大夫
- 侍醫 侍醫
- 御醫 御醫
- 藥劑師 藥劑師
- 藥師 藥師
- 病院 病院
- 院長 院長
- 藥局 藥局
- 診察料 診察料
- 脈錢 脈錢
- 藥價 藥價
- 水藥 水藥
- 水藥 水藥
- 丸藥 丸藥
- 丸藥 丸藥
- 粉藥 粉藥
- 膏藥 膏藥
- 氣付藥 氣付藥
- 發汗劑 發汗劑
- 散劑 散劑
- 解熱劑 解熱劑
- 退燒藥 退燒藥
- 毒藥 毒藥
- 毒藥 毒藥
- 劇藥 劇藥
- 薄荷 薄荷
- 寶丹 寶丹
- 清心丹 清心丹
- 清心丹 清心丹

第六十五課 醫者(二) 大夫(二)

病私ハヒドク腹ガ痛ミマシテ下痢 我肚子疼的利害還瀉肚。請
 ナシマス。ドウゾ御診察ヲ願ヒマ 先生診診脈。

ス。
 大何カ悪い物ヲ食ベマシタカ。 吃了甚麼不好的東西了罷。
 病何モ食ベタ覺ハ御座イマセンガ 也沒吃甚麼不好的。打昨天
 昨晚カラ急ニ痛ミ出シマシタ。 晚上忽然就疼起來了。
 大何回程下痢シマシタ。 瀉了幾回。
 病昨晚十六七回バカリ有リマシテ 昨天晚上就瀉了十六七回
 夜通シ殆ンド睡リマセン。 了。整夜的所沒能睡。
 大宜シイ。脈ヲ拜見シマセウ。舌ヲ出 我給您診診。看々您的舌頭
 シテ御覽ナサイ。
 大貴下ハ胃ガ大變悪いデス。ヨク養 您是胃不好。得好々の保養。
 生ナサラナクテハイケマセン。當 目下要吃牛奶麵包雞蛋甚
 分ハ牛乳ヤパンヤ卵ナドヲ食ベ 麼的別吃難剋化的東西。
 テ不消化ノ物ヲ上ッテハイケマ

セン。

病有り難ウ御座イマス。

大此ノ藥ヲ上ゲマス。此ノ散藥ハ食

後ニ一回ツツ。此ノ水藥ハ食前ニ

一回ツツ御飲ミナサイ。コレデー

日分デス。

勞您駕。

我給您這個藥這是麪子藥。

吃完了飯就用一回。這是藥

水吃飯之前用一回。這就是

一天的藥。

練習

一人間ノ脈搏ハ幾ツデスカ。

人的脈跳是幾個。

二人間ノ脈搏ハ通常一分間

人的脈跳是大概一分的工

ニ七十二回位デス。

夫打七十二。

三人間ノ體温ハ何度デスカ。

人的體温够幾度。

四通例三十七度デスガ熱ガ

大概够三十七度。若是發燒

アルト三十九度ニモ四十

就够三十九度四十度了。

度ニモナリマス。

五胃ガ悪イト體ガダルクテ。

胃不好身子就發倦神氣就

精神ガボンヤリシマス。

迷糊。

第六十六課 例ノ一件

那件事情

甲例ノ一件ハドウシタモノデセウ。

那件事怎麼辦好呢。

乙仕方ガ無イカラ拒絕シヤウト思

無法子辦。我想要推辭了。

ヒマス。

甲私ノ見込デハ先ツヤッテ見テ今

我想莫若辦着瞧。先不必推

拒絕シナイ方ガ善カラウト思ヒ

辭。

マス。

乙ソレモ御尤デス。

您說的也很是。

甲今日時事新報ガ號外ヲ出シマシ

今天時事新報出了一個號

タ。アノ兩國ハ到頭開戦シタサウ

外。說是到底那兩個打了仗

デスネ。

乙 又例ノ探訪者ノゴマカシ手段デハ有リマセンカ。

了。
到頭、到底、究竟、未々了見之意。
也不是那個訪事人想的惑亂人心的一個法子。

甲 マサカソナ事ハ有リマスマイ。倫敦電報デスモノ。

怕不然罷。那是打倫敦來的信。

乙 其ノ倫敦電報ダッテ宛ニハナリマセン。

マサカ……マイ 怕不又信不得之意。
雖然倫敦的電報也靠不住。

甲 人ト談判スルノニハ先ヅ先方ノ意向ヲ十分ニ探ッテ置カナケレバイケマセン。

跟人商量事情得預先好好的探聽探聽人的意思。然後再商量。

乙 ソレハ必要ナ事デス。

那是要緊的。

練習

一 イクラゴマカシテモ人ガ

縱然是惑亂人心人家未必

承知シマスマイ。

肯信罷。

ニアノ將軍ハ戰術ガ上手ダカラ。マサカ負ケル様ナ事ハ有リマスマイ。

那個將軍有韜略的。怕不至於打敗仗罷。

三年ハ寄ッテモマサカノ時

人雖然是老了可是遇事的時不落人後。

ン。

四 詰ラナク一生ヲ過スナラ

潦倒一輩子不如快死倒好。

早く死シダ方ガヨイ。

五 イクラ學者ダッテ分ラナイ事モ有リマス。

雖然是念書人也有不懂得的事情。

六 アノ人ハ初メハ小學校ノ教師デシタガ到頭大臣ニ

他當初是小學校的一個教師。到底當了大臣了。

ナリマシタ。

第六十七課 戰死。打仗死。

甲 アノ人ハ妻子ヲ後ニ殘シテ戰死。他打仗死了就剩了他媳婦跟兒子了。

乙 夫レハ氣ノ毒ノ事デス。可哀相ナ。那實在是可慘的事情。最可慘的是他的後輩。

甲 實ニ戰爭程慘酷ナモノハ有リマ。實在沒有比打仗慘的了。

乙 併シ。ソレモ國民ノ義務トシテ止。這也是國民的一個義務。不
ムヲ得ナイ事デス。得己的事情。

甲 一國ノ體面ヲ保ジニハ。ドウシテ。保全國家的根本。總得擴充
モ海陸ノ軍備ヲ擴張シナケレバ。海軍和陸軍。
ナリマセン。

乙 左様デス。近來ハ武器モ發達スレ。不錯。近來的兵器造的也精
バ戰術モ餘程進歩シマシタ。韜略也很長進了。

甲 コレカラモ追々改良進歩スルデ。以後慢々の也就更好了。
セウ。

乙 只今デハ輕氣球ヲ戰場ニ使用ス。現在把氣球運到打仗的地
ルヤウニ成リマシタ。方去了。

甲 潜水艇ト云フ物モ出來タサウデ。我聽兒說。潜水艇也興出來
ス。了。
乙 ハイ。ソレハ極近頃ノ發明デス。是。那是最新興出來的。

練習

- 一 此ノ兩人ハ極親密デス。這兩個個人很親熱。
- 二 私ハ今日止ムヲ得ナイ用。我今天有不得已的事情不能奉陪。

ルコトが出来マセン。

三 私モ據ナイ用事が有リマ
スカラ參ルコトが出来マ
去。 我也有不得已的事情不能

セン。

四 貴下ニマデ御心配ヲ懸ケ、
叫您費心實在對不起。

テ本當ニ御氣ノ毒デシタ。

五 普通教育ガ發達シテ來ナ
除非普通教育長進國家決

ケレバ國家ハドウシテモ
不能興旺。

盛ニナリマセン。

六 一旦約束シタ事ハドウシ
一約定了的事情總得實行。

テモ實行シナケレバイケ

マセン。

第六十八課 此ノ菓子ハ甘過ギマス。

這個點心太甜。

這個點心太甜。

甲 此ノ菓子ハ甘過ギマス。

多吃甜點心就壞胃。

乙 甘いモノヲ餘リ澤山食ベマス。

胃ヲ悪クシマス。
他近來愁眉不展的。

甲 アノ人ハ近頃ハ澁イ顔バカリシ

テ居マス。
了虧了罷。

乙 大方又商賣ニ手ヲ出シテ損ヲシ

タノデセウ。
了虧了罷。

甲 アノ人ハ種々ノ事ニ經驗ノアル

人デ世ノ中ノ辛イモ甘イモヨク

知ッテ居リマス。
辛苦都知道。

乙 道理デ中中老練家ダト思ッテ居

マシタ。

湖。

甲 不味イ物デスガ。一ツ召シ上ッテ
下サイ。 這個粗點心。請您嚐一嚐。

乙 コレハ旨イ菓子デス。 這是口味好的點心。

甲 此ノ茶ハ出過ギテ苦イデス。 這個茶沏得太鹹很苦。

乙 少シ湯ヲサセバ薄クナリマス。 續上點兒開水。就淡點兒了。

練習

一 子供ヲ甘ク育テル。 嬌養小孩子。

二 此ノ柿ハマダ澁イ。モウ一月モ立ツト甘クナリマセ
月就甜了。 這個柿子還澁。再過了一個

三 此ノ時計ハ又機械ガ損ジ
マシタ。 這個錶瓢子又壞了。

四 胡椒ハ辛イ。生姜モ辛イ。漬
胡椒是辣的。生姜也是辣的。

物ハ鹹イ。ソシテ酢ハ酸イ 醃菜是鹹的。米醋是酸的。
デス。

五 アノ人ハ數學ハ旨イガ字
ハマヅイ。 他的數學好。可寫的字不好。

六 私トハ極薄イ親類デス。 跟我是遠親。
第六十九課 散語

アノ人ハ我慢ノ強イ人デス。 他是強忍的人。

此ノ着物ハ皺ガ寄リマシタカラ。延
再疊起來罷。

阪チ上ル時ハ中々骨ガ折レマスガ。 上坡兒的時候兒很用力氣。

下リル時ハ樂デス。 一下去就舒服了。

影デ人ノ善悪ヲ噂スルノハ宜シク
不是好事。

無イ事デス。

私ハ餘儀ナク承知シマシタ。
 一筋ノ細イ針金デ千里モアル遠イ
 國ノ人ト話ヲスルコトガ出来マス。
 明晩六時カラ神田ノ錦輝館デ活動
 寫眞ガ有リマス。貴下ハ御一緒ニ御
 出ニナリマセンカ。
 アノ女ハ姿ハ醜イガ心ハ極善イ女
 デス。
 今晚ノ演說會ノ辯士ハ誰々デスカ。
 昨日漂着シタ屍体ハ他殺ノ疑ガ有
 ルカラ。今日大學病院デ解剖シマシ
 タ。

我沒法子答應了。
 用一根細鐵絲跟千里遠國
 的人能說話。
 明天晚上六點鐘神田錦輝
 館有電影戲您跟我一塊兒
 去好不好。
 那個女人面目很醜。可是心
 地好。
 今天晚上演說會辯士都是
 誰啊。
 昨天漂了來的死屍。疑惑是
 被人殺死的。今天在大學堂
 病院裏要剖解。

名士ガ國事犯ノ嫌疑デ拘引サレマ
 シタ。
 貴下ハ議會ヲ傍聽ナサッタコトガ
 有リマスカ。
 今日ハ何處ノ家デモ提灯ト國旗ヲ
 出シテ居リマス。何ガ有ルノデセウ。
 若い時ニ惰ケルト。年ヲ取ッテカラ
 苦勞ヲシマス。
 今ニナッテ後悔シタ所ガ追付カナ
 イ。
 電車ノ中デ唾ヲ吐イタリ。煙草ヲ吸
 ヲテハイケマセン。
 道路ヲ通行スルノニハ。左側ヲ通ラ

名士因為有國事犯的嫌疑
 現在被押了。
 您傍聽議會了沒有。
 今天各家都掛燈籠和國旗
 是有甚麼事呢。
 年輕的時候懶惰。一到了老
 年必受勞苦。
 到了這個地步上後悔也無
 及哪。
 坐在電車裡頭。不可吐痰抽
 烟。
 人在街上走。得靠着左邊兒

ナケレバイケマセン。
 約束ヲ實行シナイト人ニ迷惑ヲ掛
 ケマス。
 今日ノ新聞ハ何カ珍ラシイ事ガ有
 リマスカ。
 私ハドウセ獨身デスカラ。何處ヘ行
 ヲテモ構ヒマセン。
 ソウ氣ヲ苛ッテハ失敗シマス。凡テ
 何事デモ氣長クヤルト却ッテ成功
 シマス。
 金ハ大概何圓程有レバ間ニ合ヒマ
 スカ。
 君ハ何ヲスルノデモ輕々シイカラ
 走。
 言不應典。就叫人掣肘
 有。今天新報上有甚麼新聞沒
 有。
 我左右是一身一口。上那兒
 去也不要緊。
 您這麼生氣就要壞事。不論
 甚麼事得慢々の辦纔能成
 功哪。
 銀子大概有多少就設用的
 了。
 您幹甚麼都是草率。所以叫

人ニ侮ラレマス。モット重々シクシナ
 ケレバイケマセン。
 生意氣ナ人ト臬トハ私ハ嫌デス。
 アノ人ノ話ハ仰々シクテ。信用ガ出
 來マセン。
 明日ハ上野デハ自轉車ノ競走ガア
 リ向島デハ「ボートレース」ガ有リマ
 ス。
 アノ人ハ帽子モ取ラナイデ挨拶シ
 マス。本當ニ失敬ナ人デス。
 長雨がヤット霽レテ。今日ハ氣ガ清
 々シマス。
 人藐視。您得再莊重點兒。
 冒失的人和夜猫子我都不
 愛。
 他說話太誇張靠不住。
 明天在上野有賽自行車。在
 向島有賽船的。
 他不摘帽子行禮。實在是不
 恭敬的人。
 潦雨纔過了。今天覺着很痛
 快。

着物モ靴モ帽子モ皆黴ガ生エマシ
タ。早く持ち出シテ。風ニ御當テナサ
イ 靴子帽子衣裳都長了白毛
了。快拿出去晾晾罷。

アレ御聞キナサイ。蟬ガ鳴キ出シマ
シタ。モウ夏景色ニナリマシタ。
アノ人ノ免官ニナッタ事ハ此ノ間
ホンノリト聞キマシタ。
職了。

アノ小僧ハ何ヲサセテモ。ボンヤリ
デ。丸デ氣拔ノ様デス。
那個徒弟。叫他幹甚麼事。都
迷々糊々の彷彿是失了神
的樣子。

アノ男ハ餘リ膽ガ小サイカラ。ドウ
カスルト慌テテ仕損ジマス。
的。就著忙所以壞事。
您既是腦袋有病別勉强的
貴下ハ腦ガ悪イノニ無理ニ勉強シ

テハイケマセン。
用工了。

汽船ノ沈没デ持主ノ損失ハ百萬圓
處デ無イ様デス。
輪船沈了。聽說本主吃的虧
不止一百萬錢。

道具ヲ使ッタラ元ノ處ヘ仕舞ッテ
置キナサイ。
你使完了傢伙還擱在原地
方罷。

アノ店ハ品物ガ好イ割合ニ値ガ安
イ。
那個舖子東西好價錢還便
宜。

アノ人ハ狡黠デ狐ノ様ダカラ誰モ
交際スル人ガ有リマセン。
他狡猾像狐狸似的。誰都跟
他不來往。

コレハ珍ラシクモ無イ有リフレタ
品物デス。
這不是稀罕東西。是常見的
品物。

昨晩近所デ火事ガ有リマシタガ。仕
合ニ風ガ無カッタカラ。類焼ダケハ
水了。幸虧沒風纔沒燒了我

免レマシタ。

第七十課 料理

的房子。

菜。

甲 貴下ハ毎日支那料理ヲ召シ上ッ

您天天兒用中國菜麼。

テ居マスカ。

乙 日本料理モ食ベマス。

也用日本菜。

甲 ドウデス。日本料理ハ御口ニ合ヒ

怎麼樣。日本菜合您的口味

マスカ。

不合。

乙 結構デスガ少シ淡リシテ居マス。

好。可淡點兒。您吃中國菜麼。

貴下ハ支那料理ヲ召シ上リマス

カ。

甲 支那料理ハ餘リ脂濃イカラ。毎日

中國菜油膩太多。不能天天

ハ食ベラレマセン。

兒吃。

乙 私ハ脂濃イノガ好キデスカラ。支

我愛油膩的。所以中國菜西

那料理ヤ西洋料理ノ方ガ口ニ合

洋菜倒合我的口味。

ヒマス。

甲 貴下ハ蕎麥ハ御好キデスカ。

您愛吃麩麼。

乙 蕎麥ハ大好物デス。

麩我很愛吃。

甲 東京デ支那料理ノ好イノハ何處

在東京。好中國飯館子是那

デスカ。

個。

乙 近頃神田ニ澤山出來マシタガ。矢

近來在神田地方新開的有

張神樂坂ノ鳳樂園ナドガ評判ガ

很多。可是神樂阪的鳳樂園

善イ様デス。

算是出名的。

練習

- 刺身 生魚片
- 膾 膾
- 吸物 湯
- 燒魚 燒魚
- 魚煮 煮魚
- 天麩羅 炸魚
- 香ノ物 鹽菜
- スープ 肉湯
- ハム 火腿
- ビーフテキ 烤牛肉
- オムレット 攤黃菜
- フラ
- イ 油炸的魚或肉
- 乾魚 乾魚
- 昆布 海帶菜
- 淺草苔 紫菜
- 鰯 鱈
- 魚翅 魚翅
- 菌 蘑菇
- 燕巢 燕窩

煎海鼠海參

一 日本料理ハ砂糖ヲ澤山使

日本菜多用白糖。

ヒマス。

二 西洋ノ醬油ハソースト云

西洋醬油叫ソース。

ヒマス。

三 東京デ西洋料理ノ一番善

在東京的西洋菜最好的是

イノハ何處デスカ。

那個。

四 上野ノ精養軒ガ有名デス。

上野的精養軒出名。

五 貴下ノ下宿デハ支那料理

您住的客店弄中國菜麼。

ヲ致シマスカ。

第七十一課 夏休

歇仗

甲 もう直ぐに夏休が來ます。今年は

快到了歇仗了今年您要上

貴下は何處へか御出になります

那兒去啊。

か。

乙 私は今年も又鎌倉へ行かうと思

我打算今年再上鎌倉去。您

って居ります。貴下は御國へ御歸

要回國麼。

りになりますか。

甲 はい。母が少し不快で是非とも歸

是家母有點兒不舒服。有信

って來い云って來て居ります

來說是必得回去。所以我想

から一度歸らなければならぬ

着得回去一邊。

と思ひます。

是非とも、必得、總得之意。

乙 御病氣はどんな鹽梅ですか。

令堂不舒服怎麼樣。

甲 大した事は有りませんが。腦が少

不很利害。就是腦袋有點兒

し悪いのです。毎年夏になると出

病。每年一到了夏天就犯了。

ます。

乙 それはまあひどくなくて結構で

那倒沒甚麼可怕的請他好

すがどうぞ御大事になさいませ。甲御親切に有り難う御座います。鎌倉はどっちの方ですか。

好兒的保養保養罷。承您盛情。您要去的是鎌倉甚麼地方。

乙長谷の近所で海へは極近い處です。私の伯父の別荘で御座います。甲どうもあの邊の景色は何とも云へませんね。私も一昨年は一ヶ月ばかり逗留して居ました。

在長谷左近地方。離海很近。就是我的家伯的別墅。那邊兒一帶景緻。實在說不上來的好。我前年在那兒大概住了有一個月哪。

乙ああそうですか。鎌倉も誠に善い處ですが。見慣れると何も珍らしくは有りません。鎌倉は私はもう見飽いて仕舞ました。

啊是麼。鎌倉實在是個好地方。可看慣了就沒有甚麼出奇的了。鎌倉我已經看膩了。

練習

一どの學校も大抵七月の中頃から暑中休暇になります。

各學校大概七月半頭兒歇伏。

二明日の午後は是非御伺ひ致します。

明天午後必要伺候您去。

三いくら上手の音樂でも聞き慣れると面白くもないです。

怎麼樣高手的音樂。若是聽慣了也沒有甚麼高興的了。

四電車に飛乗するのは危険ですが。慣れると何でも無いです。五私は芝居はもう見飽きました。

電車走的時候兒跳着上車。很危險。可跳慣了也沒有甚麼危險的。聽戲我已經聽膩了。

六これは珍らしい大きな金 這是很大的個金剛石。
剛石です。

第七十二課 爲換 滙錢。

甲 遠方へ金錢を送るのは、どんな手續をすれば善いですか。 到遠地方送銀子、用甚麼法子可以行呢。

乙 それは何でも無い事です。郵便爲換でやれば一番便利で、其上安全最方便而且妥當。

甲 手紙の中へ紙幣を封じ込むので 是信裡頭封鈔票送麼。

すか。

乙 とんでもない事です。そんな事を 這是甚麼話呢。若是那麼辦すれば犯則になります。 就犯了規矩了。

甲 どうか爲換の手續を教へて下さ 請教辦滙錢的法子。

い。

乙 先づ郵便局へ行つて現金を出し 先到郵便局去、給他現銀子。其外に手数料を拂うと爲換手形 另外給他滙水、就可以換給と引き換へてくれます。それを手 您一張滙票、把這張滙票、跟紙の中へ封じ込んで先方へ送り 信一塊兒封上、就送了去了。ます。

甲 途中で紛失する様な事は有りま 在路上不能丢了麼。

乙 大丈夫です。併し書留にして置け 十分靠得住、掛上號更妥當ば、一層安全です。 了。

甲 爲換取扱は郵便局に限りますか。 滙錢的事情、竟是郵便局辦麼。

乙 いいえ、電信局でも銀行でも取 不是。在電信局和銀行也可

扱ひます。

以辦。

練習

- 一私の店は皆現金で掛賣は致しません。 我的舖子賣現錢不賒賬。
- 二あの店は客の取扱が下手です。 那個舖子應酬客不好所以顧客が段々減ります。 顧主漸々の少了。
- 三運賃も込めて幾らですか。 連水脚一塊兒是多少錢。
- 四そんなに詰め込むと行李が壊れます。 那麼混棹箱子要壞。
- 五博覽會が開けたので田舎の人が澤山東京へ入り込んで來ました。 因為博覽會開了。鄉下人上東京來的很多。

- 六見物人が澤山で込み合つて身動も出來ません。 看鬧熱的人很多。擁擠不動了。
- 七あの事件は餘程込み入つて居ります。 那件事情很錯亂。
- 八漁師が海の底へ飛び込んで鮑を取ります。 打魚的跳到海底去打鮑魚。

第七十三課 辛抱

忍耐

甲 近頃の商賣は段々不景氣になつて困ります。 近來我的買賣一天比一天不興旺。我很着急。

乙 それは氣に掛けるに及びません。今暫くの所我慢してさへ居れば、直ぐに恢復出來ます。 別懸心。只要暫且忍耐。立刻就可以照常。

甲 それはどう云う譯ですか。 那是甚麼緣故呢。

乙 今の處戦争の影響で、一時需要が無い様ですが、經濟界の整理が出来れば、忽ち見込が立って來ます。

甲 ああ、そうですね。

乙 昔から辛抱が金と申します。今が最も大切な時です。

甲 そう申しますが、時には我慢しきれない様の事もあります。

乙 そこです。出来る辛抱なら誰でもします。出来ない處を辛抱するのが、本當の辛抱です。

甲 御説は全く格言です。御蔭で安心しました。

現在因爲打仗以後暫且沒有買賣、只要市面一整頓立刻就有買賣了。

啊是麼。

古來說忍耐就是金。現在是最要緊的時候。

話雖是那麼說。有時候兒也有忍不住的事情。

您看。能忍耐的誰都能忍到了。忍不了的事情也能忍那纔是眞能忍耐哪。

您說的都是良言。承您厚情。我放心了。

練習

一 あの呉服屋は段々ご景氣が善くなつて、毎日客が一杯

に入りに込んで居ます。

二 電車に乗るのは、人力車に乗るより經濟です。

三 こんな事さへ出来ないものが、どうして軍人になれませう。

四 貧乏で三度の飯さへ食べられませんか。

五 品物が丈夫でさへ有れば、それで善いです。高からう

那個綢緞舖。一天比一天興旺。天天兒滿舖子裡都是買主兒。

坐電車比坐東洋車省錢。

這麼樣事情你都不能辦。怎麼能當兵呢。

窮的一天連三頓飯也吃不上。

只要東西結實。貴的離格兒了。也不要緊。

が不體裁だらうが。少しも構ひません。

第七十四課

視察

考察

甲 貴下は外國へ御留學なさるさうですが、いつ頃御出發ですか。

聽說您要到外國留學去。多啻要起身。

乙 留學では有りません。視察です。出發はまだ確定しません。多分來月の中頃神戸を出帆する事になりませう。

不是留學去。是考察去。起身那層還沒定。巧了。下月中旬從神戸上船。

甲 官費ですか。私費ですか。

是官費。是自費。

乙 内務省から派遣される事になりました。

定規的是內務省派出去。

甲 誠に御目出度い事です。

實在恭喜恭喜。

乙 いつか一度は洋行もして見たいと思つて居ました。處でもあり。それに丁度渡邊君も同行する事になりました。だから大變都合が好いです。

我也本打算着。早晚出一回洋。還有渡邊兄。可巧搭幫走。所以很方便。

甲 此度の御洋行はどんな御用です。

這回出洋是有甚麼貴幹。

乙 歐米各國の工場を視察するのが、主眼な目的で、傍ら工業教育の事も取調べたい考です。

打算要考察歐美各國的工場。是頭一個題目。另外還要查工業學堂。

甲 どの國々へ御出になりますか。

要上那國去。

乙 米國から英國へ渡り、佛蘭西、獨逸、白耳義、以太利などに參る積です。

打算從美國到英國。回頭到法國。德國。比國。意國去。

練習

- 一 出發の期日が確定したら。定規了動身の日就可以御知らせ致します。奉聞。
 - 二 私が歸つた所へ丁度あの人 我回來了可巧他來了。が來ました。
 - 三 昨晚の歡迎會に出席した 昨天晚上接風來的人整有人は丁度百人ありました。 一百人。
 - 四 米國から英國へ行くのに 從美國到英國得過大西洋
- 亞細亞 亞弗利加 歐羅巴 亞米利加 澳大利亞
 東洋 東方 日本 支那 中國 朝鮮 高麗 西洋 英吉利 英國 佛蘭西
 獨逸 德國 露西亞 俄國 以太利 意國 西班牙 白耳義 比國 和
 蘭 荷蘭國 瑞典 瑞典 丁抹 丹國 埃及 埃及 米國 美國 墨西哥 智利
 巴西 波斯 波斯 印度 安南 安南 暹羅 暹羅

甲 どうして雪が降るのでせう。
 乙 寒いからです。
 甲 それは極り切つた事です。そんな事を尋ねるのではありません。私はなぜ雪が降るか其の原因を知りたいのです。
 甲 どうして雪が降るのでせう。
 乙 寒いからです。
 甲 それは極り切つた事です。そんな事を尋ねるのではありません。私はなぜ雪が降るか其の原因を知りたいのです。
 第七十五課 どうして雪が降るのでせう。
 怎麼下雪呢。
 怎麼下雪呢。
 是冷所以纔下雪。
 那是自然的。我不是問這個。我要知道怎麼下雪的緣故。

は。大西洋を渡らなければ
 なりません。
 五支那から米國へ行くのに
 は。太平洋を渡らなければ
 なりません。
 從中國上美國得過太平洋。

乙君は雨が降る譯を知って居ますか。

你知道怎麼下雨的緣故麼。

甲それも知りません。

這也是不知道。

乙空中に雲の出来る譯も知らないでせうね。

也不曉得天上怎麼會長出雲彩來呢。

甲それは知って居ます。地上の水が太陽の熱で蒸發したものです。

我知道。地上的水受了太陽的蒸熱所以長出來的。

乙それは雲ぢや有りません。

那不是雲彩。

甲雲で無くて何ですか。

不是雲彩是甚麼。

乙それは水蒸氣です。水蒸氣は眼に見えない氣體です。それが空中に昇って冷たい空氣に出遇うと凝結して雲になり集って雨になって降ります。雲が極冷たい空氣に當りま

這就是蒸氣。蒸氣是我們的眼睛不能看見的。這個氣往天上去碰見寒氣就結成雲彩。凝聚住了就成了雨了。若是雲彩碰見極冷的氣就變

すと凍って雪になって降るのです。

爲雪了。

練習

一 風を引いて少し發熱しました。醫者に診察してもらひませう。

着了涼了有點兒發燒。打算請大夫診診脈。

二 此の一兩日の寒さで濠の水は凍って厚い氷が張りました。

這一兩天很冷。護城河都凍了頂厚冰。

三 鯨は獸類でなくて何ですか。

鯨魚不是獸是甚麼。

四 今日風が冷たいです。手袋を穿いて御出でなさい。

今天颯的風很冷您戴手套去罷。

五 今怒り切つて居る處ですか。

他正在氣頭上別惹他。

ら。からかつてはいけません。
六品物は皆賣切つて仕舞ひま
東西都賣完了。
した。

第七十六課 會社

公司

甲 會社と社會は同じ意味ですか、
會社跟社會是一樣的意思麼。

乙 大違です。社會は人類の寄集つた團體と云ふ意味で、會社は同志の者が資本を出し合つて事業を興す組合の事です。
這兩個意思差得遠。社會是人類聚集的一團的意思。會社是一樣的主意的人彼此湊集資本立事業的意思。

甲 何の必要から會社などを組織するのですか。
有甚麼益處打夥立公司呢。

乙 澤山の人が組合つて事業を興すと、
許多的人打夥立事業各人

一人一人から出す資本は僅かでもそれを合しますと、多額の金高になりますから、手廣く商賣をする事が出来ます。
拿出的資本雖然少。聚起來銀子就多了。本錢多所以能做大買賣。

甲 すると銀行も矢張一つの會社ですか。
那麼銀行也是一個公司麼。

乙 そうです。株を募つてそれを營業の資本にして、預金や貸附やで金錢の融通を附ける一つの會社です。
是招股份爲資本。辦存錢的事。或是放銀子的事。是週轉銀子的一個公司。

甲 保險會社はどう云ふ會社ですか。
保險公司是甚麼公司。

乙 保險會社は、大災海上生命などの危險を引き受ける會社です。
保險公司是保險火災船舶人命等險的一個公司。

練習

株式會社 股份有限公司 合名會社 合夥公司 合資會社 合本會社 有限責任會社 無限責任會社 無責任會社 無限責任公司 生命保險會社 海上保險會社 火災保險會社 電氣鐵道會社 電燈會社 炭礦會社 鐵道會社 本店 支店 分行

一あの會社は今度事業を擴張するので新株を募つて居ります。又招了新股份了。

二信用のある會社程株が高いたです。 靠的住的公司股份票就貴。

三正金銀行の支店は上海に有りますか。 正金銀行在上海有分行沒有。

四あの銀行は破産しさうで。 那個銀行要倒運。

五不景氣で金の融通が付きません。 因爲市面緊所週轉不開了。

第七十七課 保險會社

甲 保險會社に保險を頼む手續は面倒なものですか。 和保險公司立保險單麻煩不麻煩。

乙 何も面倒な事は有りません。 沒有甚麼麻煩的。

甲 恐れ入りますが其の手續の御説明を願ひます。 請您教給我那個法子。

乙 保險を依頼せうとする人は其の會社と契約をして置いて毎年少しづつ金子を掛けて置くのです。 後來若是這個人死了或是着了火了或是丢了貨物。公災に罹るとか積荷を失すとか云

托保險的人跟公司立合同。 每年存在公司裏多少銀子。 司裏賠給這個人原先約會

ふ事があると。會社から約束の金の銀數兒。就是這麼個規矩。

甲 それじゃ私が火災に罹つても病

氣で死んでも其の會社から屹度

保險金を下け渡しますか。

乙 それは勿論の事です。併し火災は

火災。生命は生命と皆別々の會社

が御座います。

甲 ああそうですか。

乙 自分が死んでも遺族が難儀せん

やうにご思ふ人は。生命保險に頼

みます。家が焼けても困らないや

うにするのには。火災保險に這入

的銀數兒。就是這麼個規矩。

那麼我的房子着了火了。或

是我得病死了。那個公司一

定賠給我保險的銀子麼。

那是自然的。可是火災是火

災。生命是生命。各有各樣的

公司。

是麼。

爲的是。人死了不叫後嗣爲

難。須要托生命保險公司。爲

的是房子燒了。不爲難的人。

要托火災保險公司。若是怕

るのが宜しい。又難船して積荷を

失しても。損失を受けないやうに

と思う人は。海上保險に依頼する

のが善いのです。

第七十八課 散語

いくら財産が有つても智恵が有つても

元氣が無くては駄目です。

語學は云ふ事も必要ですが。聽く事

を疎略にしてはいけません。

幾ら話が上手でも。聽く事が出來な

ければ。學校に這入つても講義を聽取

る事が出來ません。

あの炭礦の工夫は。近頃又同盟罷業

船壞了。丢了貨物。也不吃甚

麼虧。要托海上保險公司。

散語

雖然有產業有智識。沒有志

氣不行。

學話說也要緊。聽也要緊。

說話雖然是巧妙了。聽話若

是聽不出來。上學校去聽講

也是聽不明白。

聽說那個煤窰的工人。又要

を起したさうです。身體が健康で無いと。世の中に立つて種々の困難に堪へる事が出来ませ

同盟罷業。若是身體不結實呢。生在世

ん。蒸汽機關を發明した人は英國のジームスワットと云ふ人です。

興水火機器の人は個英國人叫ジームスワット。

日比谷公園の音樂會は雨天でしたから延期しました。多分第三日曜に開會させよう。

日比谷公園音樂會。因爲那天下雨改了日子了。大概這月第三禮拜可以開。

あの人は昨年米國へ行ったまま。今に音信が有りません。行方も分らないさうです。

他去年往美國去了。直到如今沒來信。連下落也不見了。

あの二人の仲違は仲裁する人が有

他們兩個人仇扣。有人給解

りまして仲直りしました。

開了。已經沒事了。

貴下は貴下の勝手になさい。人の事を構はなくても宜しい。

您去您的。不用管人家的事。

御互に懇意の間柄ですから。遠慮は

僭們這樣交情。不要作客。

よしませう。

敝友有病。在病院養病。我今

友達が病氣で入院して療治をして居ります。私は今日見舞に行きます。

天要看他去。

聖人でも過が有るかも知れません。

聖人也未必沒錯兒。

日光は風景の好い處ですから。日本へ來る外國人は誰でも遊びに行きます。

日光一帶景緻好。到日本來的外國人沒有不遊去的。

ます。

今日の天氣豫報は如何です。一寸新聞を見て下さい。

今天天氣預報怎麼樣。請您看看新聞紙。

密輸入品は皆政府に没收されまし
た。 販來の私貨都入官了。

あの殺人犯の裁判事件はいつ開廷
致しますか。 那件命案得多啗過堂。

五十錢銀貨には往々贋造のがある
さうです。 聽見說半塊的銀錢往々有

此の上衣は縫目が綻びましたから
女中に繕はせて下さい。 私造的。

此の家は水道も電燈も有りますか
ら大層便利です。 這件褂子縫開了線了叫了

私の耳は少し遠いです。 頭給叮聯一聯。

あすこはかけ離れて居るから晩に
なると始終追剥が出ます。 這個房子自來水電燈都有

私の耳は少し遠いです。 我的耳朵有點兒背。

あの殺人は、

此の家の水道も電燈も有りますか

ら大層便利です。

私の耳は少し遠いです。

那兒太背。晚上常有劫脫人
的。

昨日電車で時計を拘られた事は警
察署へ届けましたか。

您昨天在電氣車裡叫小絡
拘了錶去的那件事。報了警
察署了麼。

世の中に恐ろしいものは何も有り
ません。唯良心の無い人が恐ろしい
的就是沒良心的人。

暑い時に暑くなく。寒い時に寒く無
い。今年も凶作でせう。

該熱的時候不熱。該冷的時
候不冷。今年怕是又荒年。

あの盗人は處々で取った贓品を皆質
入れして仕舞ひました。

那個賊各處偷的東西都當
了。

ボーイ早く雑巾を持って御出で。テ
ブルの上へ醬油がこぼれた。

跑堂兒的拿振布來。桌子上
撒了醬油了。

新聞の發刊數と賣高とで其國の開

要知道那國風化怎麼樣看

化の程度が分ります。
 人は常に自分の責任を考へて居れば、不道德な事は出来ません。
 々賣多少新聞紙就知道了。
 人若是把自己的責任放在心上就不能作壞事了。

第三篇 説話篇

第一課 東京

東京ハ日本ノ首府デ。東京第一ノ大都會デス。西南ノ方ハ土地ガ
 高ク、東北ノ方ハ平坦デス。宮城ハ真中ニ在ッテ市街ハ其周圍ニア
 リマス。市内ハ十五區ニ分ケテアリマス。京橋區、日本橋區、神田區
 ナドハ、一番繁華ナ處デ。大キナ商店、富豪ノ家ナドガ軒ヲ竝ヘテ
 立テ居マス。小石川區、牛込區、麻布區、赤坂區ナドハ土地ガ高クテ
 閑靜ナ處デス。公園ハ十六個處バカリ有リマスガ、中デモ上野、淺
 草、芝、日比谷ナドハ最モ有名ナモノデス。東京カラ八里程南ノ方
 ニ横濱ノ港ガ有リマス。此處ハ開港場デ、外國トノ貿易ガ中々盛
 大デス。

土地 地方 宮城 皇宮
 一番 最 商店 鋪子

中デモ 裡頭
中中 很 蛙

開港場 通商口岸
真中 當中

第二課 蛙

蛙ハ冬ノ間ハ穴居シテ少シモ食物ヲ食ベマセン。三四月頃ニナルト水田ニ出テ卵ヲ生ミマス。其ノ卵ハ寒天ノ様ナ物ニ包マレテ長イ紐ニ成ツテ居リマス。暫クスルト卵ハ少サナ蝌蚪ニナリマス。蝌蚪ハ尾ヲ振りナガラ水中ヲ泳ギ廻リマス。蝌蚪ノ口ノ兩側ニハ魚ノ様ナ鰓ガ有リマス。コレデ水中ノ酸素ヲ吸ヒマス。段々大キクナリマス。胸ノ兩側ニ一對ノ後肢ガ出來程ナク前足モ出來マス。コレカラ蝌蚪ハ陸上ニ出テ遊ビマス。其ノ内ニ尾モ段々ト小サクナリ終ニハ無クナツテ本當ノ蛙ニナルノデス。

寒天 洋粉
暫クスルト趕一會兒

紐 縲子
尾ヲ振りナガラ擺尾

泳ギ廻リ 游泳

段々 漸々の

程ナク 趕一會兒

終ニハ 未々了兒

無クナツテ沒有了

第三課 地球

地球ハ圓イ形デ丁度球ノ様デスカラ地球ト云ヒマス。地球ハ斷エズ太陽ノ周圍ヲ廻轉シテ居リマス。丁度三百六十五日カカッテ一廻轉シマス。一年ト云フ日ハソレカラ割り出シタモノデス。地球ハ又自分デ二十四時間ノ間ニ一廻轉シマス。コレガ晝ト夜ト出來ル譯デ太陽ガ東カラ昇ッテ西ニ入ルト云フノモ實ハ地球ガ廻轉シテ居ルノデ決シテ太陽ガ動イテ居ルノデハアリマセン。月モ地球ノ様ニ圓イモノデスガ地球ヨリズット小サイデス。月ハ常ニ地球ノ周圍ヲ廻ツテ二十七日ト八時間デ地球ヲ一周シマス。月ハ夜ニナルト輝リマスガ其ノ光ハ月自身ノデハナク太陽ノ

光ヲ受ケテ輝ルノデス。

斷エズ 不息的

カカッテ 要

割り出シ 算出來

譯 緣故原由

ズット小サイ小的多

自分 自己

自身 自己

第四課 考物

アル夕方。私ハ海岸デ奇妙ナ物ヲ見付ケマシタ。ソレハ水際ニ穴
ヲ掘ッテ其ノ中ニ住ンデ居マス。顔ハ丸デ鬼ノ様デ。頭カラ足ノ先
マデ鐵ノ鎧ヲ着ケテ居マス。ソノ怪物ハ鏡ノ様ナ眼ヲ開ケテ。私
ヲ睨ンデ居マスカラ。私モ少シ怖ロシク思ヒマシタガ。生擒ニシ
テヤラウト思ッテ手ヲ出シマシタ。スルト怪物ハ大キナ剪刀ヲ振
リ上ゲテ。私ヲ鋏ミ切ラウトシマス。私ハ吃驚シテ二歩三歩後へ
下リマス。其ノ怪物ハ馬ノ様ニ早ク。横様ニナッテ逃ゲテ行キマ

シタ。皆様此ノ奇妙ナ怪物ハ何デセウ。當テ御覽ナサイ。

奇妙ナ物 奇怪的東西

見付ケ 見着

鬼 鬼怪

睨ム 睨視、睨視

スルト 就

後へ下リ 往後頭去

當テ 猜

第五課 じょーじすてぶんそん

初メテ鐵道ヲ工夫シタ人ハじょーじすてぶんそんと云フ人デス。
すてぶんそんハ今カラ百二十年程前ニ英國デ生レマシタ。家ガ
貧乏デ學校へ行ク事モ出來マセンデシタ。九歳ノ時ニアル牧場
ノ番人ニ雇ハレ。其ノ後石炭坑ノ工夫ニナリマシタ。此ノ間すて
ぶんそんハ晝ハ自分ノ職務ニ精ヲ出シ。夜ハ夜學校ニ行ッテ學問
シマシタ。すてぶんそんハ石炭坑デ蒸汽ポンプヲ扱ッテ居マシタ
ガ。元來ガ器用ナ人デシタカラ。ポンプガ破損スルト。自分デ修繕

致シマシタ。ソレカラ段々ト研究シテ遂ニ蒸汽機關デ荷物ヲ速ク運ブ事ノ出來ル機械ヲ發明シヤウト思ッテ色々ト工夫ヲ凝シマシタ。ソノ工夫ハ見事ニ出來上ッテ西曆紀元一千八百三十年は

一みんぐはむトリばーぶーるノ間ニ鐵道ヲ敷設シテ。汽車ヲ運轉シマシタ。コレガ世界デ鐵道ノ初メデス。

番人 看守的人

工夫スル 興出來

工夫 工人

石炭坑 煤窟

ポンプ 激筒

精ヲ出ス 發憤

扱フ 辦

器用ナ人 巧手的人

段段ト 漸々の

修繕 收拾

第六課 すえず運河

出來上ル 成功

すハ紅海ト地中海ノ間ニアル地峽デス。此ノ地峽ヲ掘リ割ッテすえずノ運河ガ出來タノデス。長サハ百哩位。幅ハ二三百尺深サハ二十六七尺アリマス。此ノ運河ノ出來ナイ前ハ歐羅巴カラ亞細亞ノ方ヘ來ルノニ陸路ヲ歩クカ。又ハ喜望峰ヲ廻ラナケレバナラナカッタノデス。然ルニ此ノ運河ガ出來マシテ。東洋ト西洋ノ交通ハ俄ニ便利ニナリマシタ。サテ此ノ運河ヲ開イタ人ハ誰カト云フト。ソレハ佛蘭西ノれせつぷト云フ人デス。れせつぷハ様々ノ困難ニ堪ヘテ。十年ノ月日ト一億六千萬圓ノ資本ヲ費ッテ此ノ大事業ヲ成功シマシタ。

地峽 土腰

掘り割ル 開鑿

喜望峰 在亞非利加最南端

廻ル 繞灣着走

俄ニ 俄然忽然

便利 方便

第七課 蝶螺ト鰯

海ノ底デ蝶螺ガ鱚ニ云ヒマシタ。君ハ體ハ白クテ綺麗ダガ他ノ魚ガ來ルト直グニ吞マレテ仕舞ウ。又荒海ナドへ出ル事モ出來マセンネ。僕ナドハドンナ荒海デモ構ヒマセン。ドンナ敵ガ來テモ此ノ殻ノ中ニ蟄ンデ居レバ大丈夫デスト。自慢チシテ居マシタ。此ノ時ザブント大キナ音ガシマシタ。鱚ハ急イデ逃ゲマシタ。蝶螺ハジツト殻ニ蟄ンデツクツクト考ヘマシタ。今頃ハ魚籠ノ中ニ入レテ打ッタニ違ヒナイ。鱚ハ可哀相ナモノダ。今頃ハ魚籠ノ中ニ入レラレテ死ンデ仕舞ッタダラウ。僕ハ此ノ殻ノ有ル御蔭デ實ニ有難イト云ッテ喜ンデ居リマシタ。ヤガテソロソロト貝ノ蓋ヲ開ケテ當チ眺メマスト。様子ガ丸テ變ッテ居マシタ。海ノ底デハナク魚屋ノ店ノ上ニ仲間ト一緒ニ置カレテ有リマシタ。ソレデ自分ノ前ニハ三ツ五錢ト云フ札ガ立テ有リマシタ。

蝶螺

海螺

鱚

撒頭魚

荒海

大海

ザブン

嘆喙的

急イデ

趕繁的

ジツト

靜々の

ツクツク考ヘ 想來想去

漁師

打魚的

網ヲ打ツ

撒網

御蔭

托福

可哀相

可憐

ヤガテ

不大的工夫兒

ソロソロ

慢々兒的

當

傍邊兒

魚屋

魚床子

札

籤子

第八課 電車

初メテ電車ヲ見タ人ハ吃度吃驚スルデセウ。汽車ノ様ニ汽罐車モナク馬車ノ様ニ馬モ曳カズニ走ルノデスカラ。不思議ノモノデス。併シ理屈ヲ知ッテ見レバ何デモ無イノデス。御覽ナサイ。電車ノ屋根ノ上ニハ二本ノ角ノ様ナ棒ガ有ッテツレガ上ニ張ッテアル。電線ニ附着イテ居リマス。其ノ棒ノ先ニハ小車ガ有ッテ電車ガ走

リ出スト。其ノ車ガ廻リマス。處デ電車ガ走ル理由ハト云フト。車
 臺ノ下ニ電氣發動機ガ備ヘ付ケテ有ッテ此ノ發動機ガ廻ルカラ
 電車ガ走ルノデス。ソレデハ發動機ハ何故廻ルカト云フト。空中
 ニ張ッテアル二條ノ電線ヘ。發電所カラ電流ヲ送ッテ來テアルノデ。
 其ノ電流ガ電車ノ屋根ノ上ニアル棒ヲ傳ッテ車臺ノ下ニアル發
 動機ニ通ズルカラ。ソレデ廻リ出スノデス。デスカラ其ノ棒ガ電
 線ヲ外レルト。電車ハ止ッテ仕舞ヒマス。併シ停留所ヘ來テ。走ッテ居
 ル電車ヲ止メヤウトスルノニ。一々此棒ヲ外シテ居テハ。非常ニ
 面倒デスカラ。運轉手ハ電車ノ前ノ方ニアル緩急器ヲ加減シテ。
 其處デ電流ヲ斷ッテ電車ヲ止メマス。此ノ緩急器ハ電車ノ速力ヲ
 速メタリ。遅クシタリ。又ハ電車ヲ止メタリ。自由自在ニ出來ルヤ
 ウニ成ッテ居マス。

不思議

奇怪

理屈

道理

何デモ無イ。沒有甚麼奇怪的。

廻リ

廻轉

併シ 可是

面倒

累贅

停留所 電車站

デスカラ

所以

第九課 花

花ハ何ノ爲ニ開クノデスカ。實ヲ結ブ爲ニ開クノデス。ソレデハ
 實ハ何ノ爲ニ結ブノデスカ。同類ノ植物ヲ繁殖サセル爲デス。今
 一ツノ花ヲ取り上ゲテ見マス。其ノ構造ガ中々面白ク出來テ
 居マス。花ノ一番外ノ方ニアル綠色ノモノヲ萼ト云ヒマス。赤ヤ
 白ヤ黄ヤ種々ノ色デ。人ノ目ヲ喜バセルノハ花冠デ。花ノ一番美
 シイ所デス。其ノ内部ニ絲ノヤウナモノガ幾ツモ有リマシテ。其
 ノ尖ニ小サイ袋ガ着イテ居マス。此ノ絲ノヤウナノヲ雄蕊ト云
 ヒ。其ノ袋ヲ葯ト云ヒマス。葯ノ中ニハ花粉ガ有リマス。花ノ一番
 眞中ノ所ニランブノホヤノ形ヲシタモノガ有リマス。コレヲ雌

蓋ト云ヒマス。雌蓋ノ尖ヲ柱頭ト云ヒ。下ノ方ノ膨レタ處ヲ子房ト云ヒマス。子房ノ中ニハ胚珠ト云フ小サイ種ガ有リマス。花粉ハ風ヤ蝶ノ媒介デ柱頭ノ上ニ落ちマス。ソレガ子房ノ中へ這入ルト胚珠ガ段々ト大キクナッテ終ニ實ヲ結ブ様ニナルノデス。

實ヲ結ブ 結果子

尖

尖頭

ランプ

洋燈

ホヤ

燈罩子

第十課 世界一周一

私ハ横濱ヲ出帆シテ。太平洋ヲ横切ッテ桑港ニ着キマシタ。ソレカラ亞美利加大陸ヲ横斷シテ。わしんとんニ一週間程逗留シテ。諸方ヲ見物シマシタ。わしんとんハ米國ノ首府デ。見物スル處ガ澤山アリマス。私ハ國會議事堂ヤ大統領ノ官邸ナドヲ看テ。直グニにゆーまろくノ方へ出發シ。其處カラ英國行ノ船ニ乗り込ンデ。大西洋ヲ渡ッテ七日目ニ英國へ到着シマシタ。倫敦ノ繁華ハ私ノ

想像ヨリズツト以上デ。ソレハソレハ何トモ形容ノ仕方ガ有リマセン。私ハ先ヅ馬車ニ乗ッテ有名ナ國會議事堂ヲ見物ニ行キマシタ。途中デ。ぬるそん將軍ノ像ヲ見マシタ。像ハ十四丈モアル石柱ノ上ニ立テテ有リマス。議事堂ハ立派ナ建築デ。ていむす河ガ後ヲ流レテ居リマス。議事堂ノ向ウニ。うえんすとみんすとるノ寺院ガ突キ立ッテ居マス。コレハ英國デ一番有名ナ寺デス。次ノ日ハ朝早くカラ旅館ヲ出テ。倫敦ノ舊城ヤ。せんとぼーるノ寺院ヤ。府知事ノ官邸ナドヲ見物シマシタ。

出發

動身

七日目

第七天

見物

看

乗り込ム

上船

途中

半道見上

向ウ

對面

第十一課 世界一周二

倫敦ニハ二週間バカリ居テ。佛蘭西へ渡リマシタ。巴里デ一番賑

カナ街ハ。いたりあんだ通。かぶしんだ通ナドデ。馬車道ノ両側ニ
 ハ。木ヲ植エテ。何處ノ家モ建築ガ一樣ニナッテ居リマス。私ハ馬車
 ニ乗ッテ。しゃんぜりぜニ行キマシタ。しゃんぜりぜハ。巴里第一ノ大通
 デ。其ノ西ニ有名ナ凱旋門ガ有リマス。南ノ方ニハ。とろがてろノ
 宮殿ガ聳エテ居マス。此處ハ數年前ニ萬國大博覽會ノ有ッテ處デ。
 えつふえるノ塔ガ高ク突キ立ッテ居マス。此ノ塔ハ世界第一ノ高塔
 デ。高サガ一千尺餘有リマス。私ハ暫ク巴里ニ居テ。汽車ニ乗ッテ。ま
 るせいゆニ行キマシタ。まるせいゆハ地中海ノ港デ。東洋カラ。歐
 羅巴ニ來ル者ハ。皆此處デ。上陸シマス。私ハ此處カラ。汽船ニ乘リ
 込ンデ。四晝夜で。ぼーとさいとニ着キ。すえず運河ヲ通過シテ。一
 週間目ニ。印度ノ錫蘭島ニ這入りマシタ。錫蘭ヲ出帆シテ。六日目
 デ。しんがぼーノ港ニ着イテ。ソレカラ。香港上海ヲ通ッテ。無事神
 戶ニ到着シマシタ。私ガ世界一周ヲ思ヒ立ッテ。日本ヲ出マシタノ

ハ。夏ノ真中デ。歸リマシタノハ。冬ノ中程デシタ。丁度六個月ノ月
 日ヲ費シマシタ。

賑カ

熱鬧

突キ立ツ

聳立

無事

一路平安

夏ノ真中

夏天最熱的時候兒

東語會話大成終

跋

吾友井上翠君學涉和漢兼善清語夙委
心於育英之道尚有所教則必先記其法
遂積以為編所以有此著也余承而讀之
有音韻單語問答諸編自易而難自簡而
繁量才而導盈科而進亦可以見諄々不
倦之意矣特著者之所致意寓諸般之學
術於日用談話中是也地理歷史算數理

化凡關日新之學術者悉皆網羅而在焉
學者苟能及復此書則不啻得燕日清語
學亦得以窺所謂普通學之一斑豈可以
一會話書目者哉

明治四十年歲在丁未三月

陸軍教授川野健作謹跋

明治四十年四月廿四日印刷

明治四十年四月廿七日

光緒三十三年三月十五日發行

東語會話大成附

著作者

東京市牛込區砂土原町丁四番地

井

上

翠

發行者

東京市神田區須田町二十三番地

高木

市兵衛

印刷者

東京市下谷區二長町壹番地

河合

辰太郎

印刷所

東京市下谷區二長町壹番地

凸版印刷合資會社

發行所

東京市神田區須田町二十三番地

國文堂書局

必究
翻印

322
37

特約販賣處

東京市神田區裏神保町一番地

三省堂書店

東京市神田區上白壁町九番地

二松堂書房

東京市神田區裏神保町

東京堂書房

清國上海

東亞公司新書局

日本堂

清國發售處

清國天津

中國教育器械館

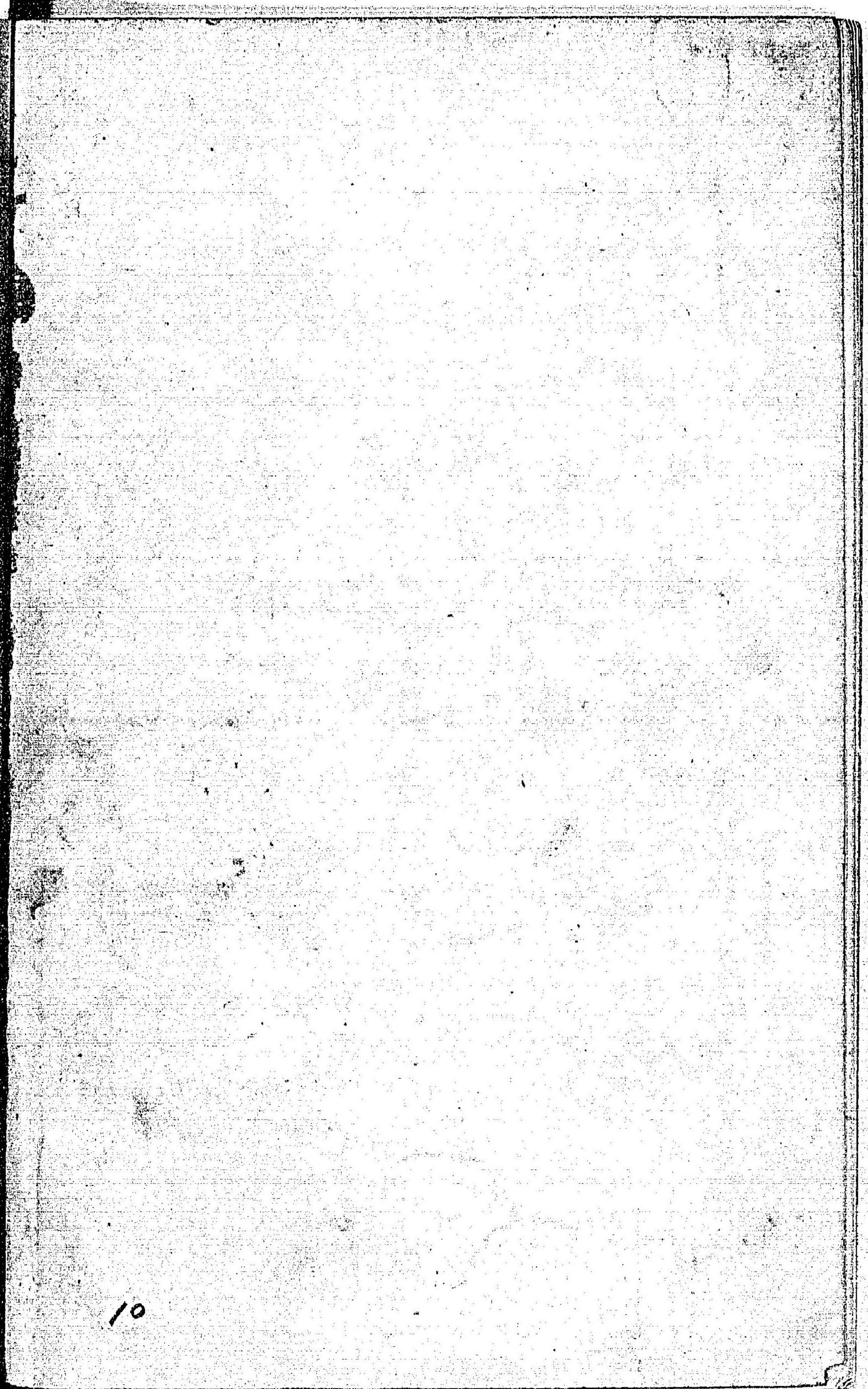
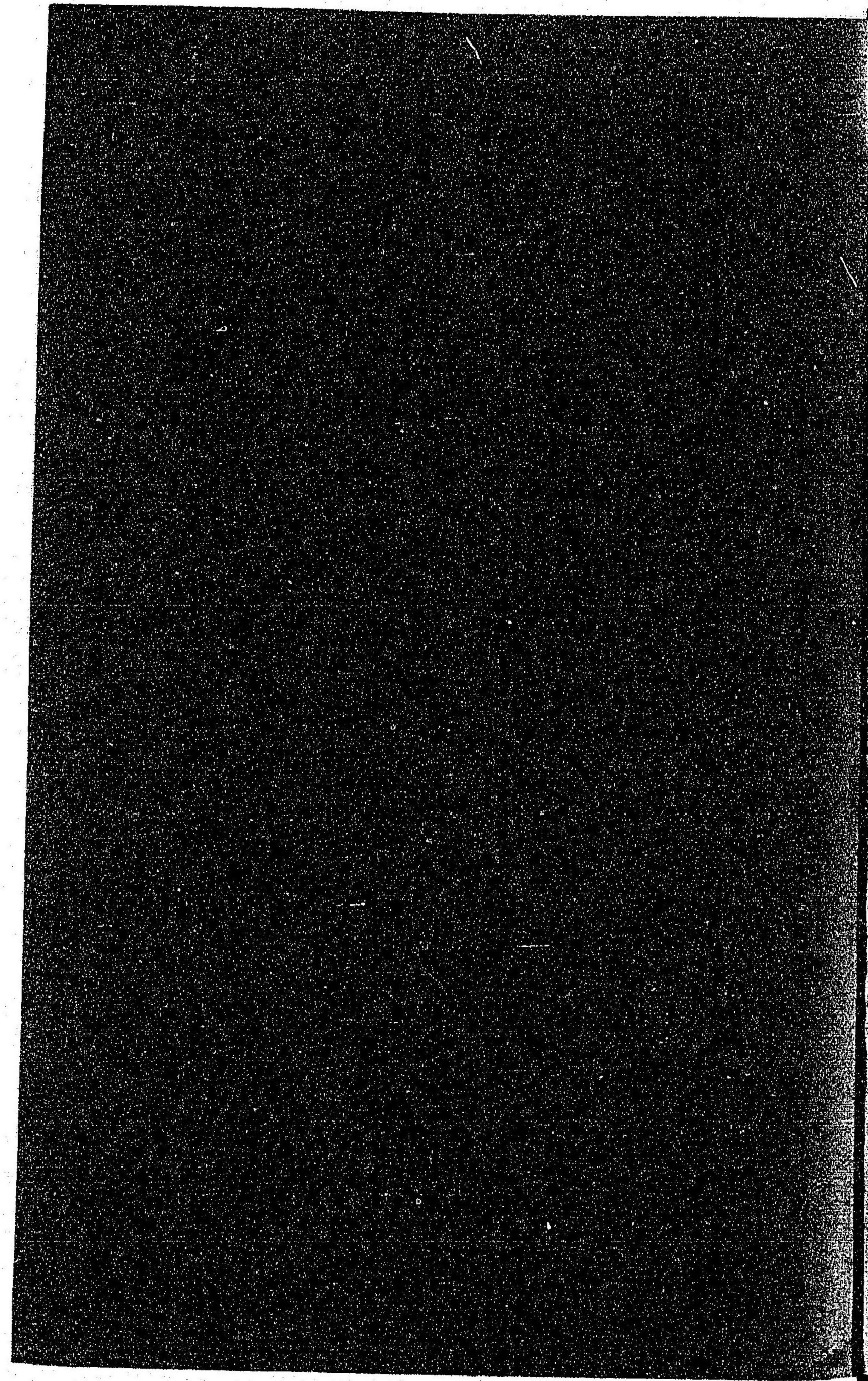
加藤洋行

清國南京

中西書局

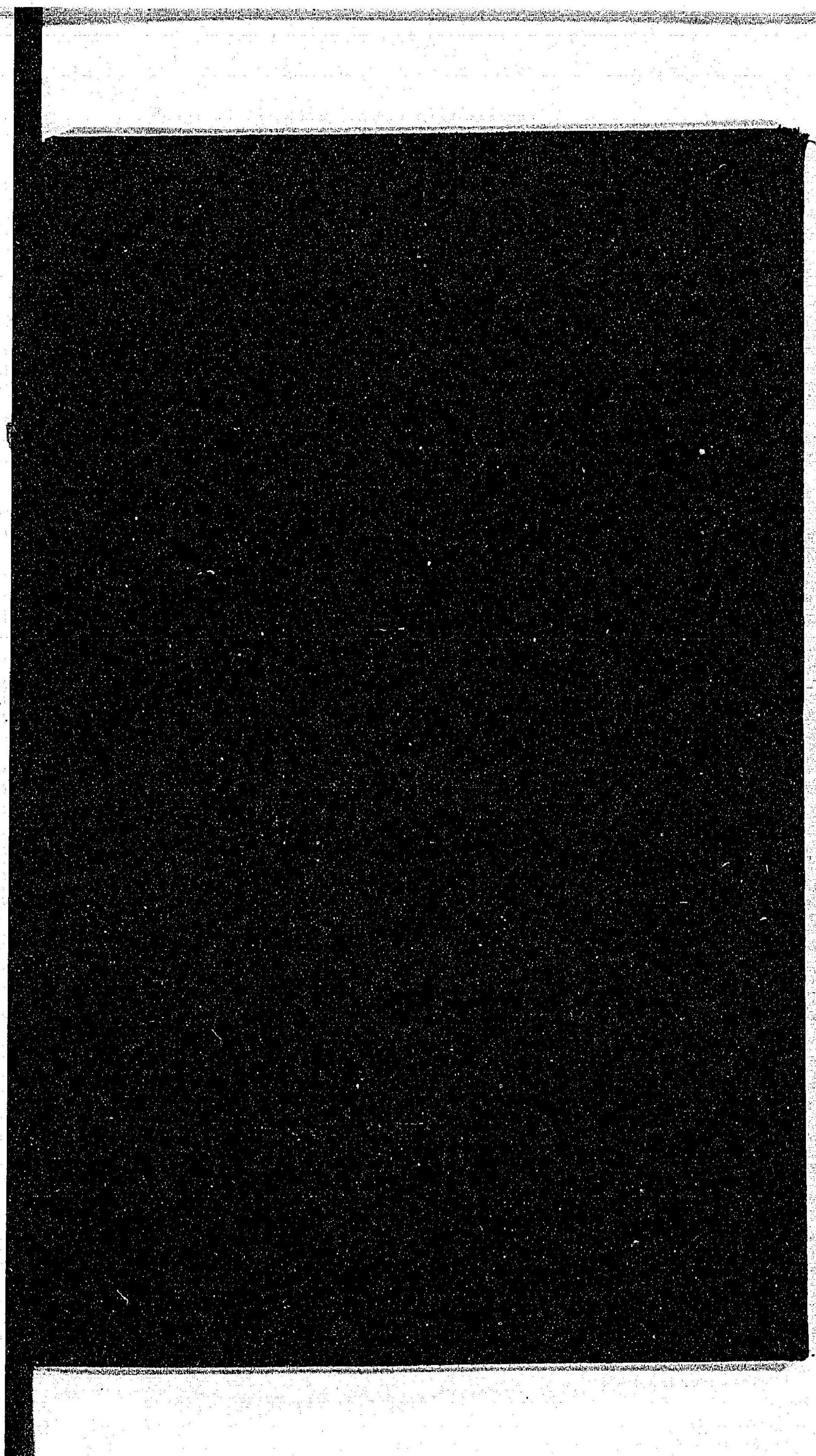
清國北京

作新社分局



10

332
37



322
37

081903-000-8

322-37

東語会話大成

井上 翠/著

M40

DAC-6877



